とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年8月　1～8日
クラス名（年齢）	すみれ　組（　　3　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

蝉について知ろう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

保育室にいても聞こえてくる蝉の鳴き声に興味を持っていたので蝉を探しに行くことにした

2、活動スケジュール

蝉の絵本を見て、蝉が生まれてから成長するまでの過程を知り、園庭に蝉を探しに行く。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

蝉の絵本　虫かご　網

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

毎日歌「せみ」を歌う中で蝉の鳴き声に違いがあることに気が付き、絵本や図鑑でせみの種類に興味を持ち、それぞれ鳴き声が違うことがわかったうえで園庭に出て蝉の鳴き声を聞いて何の種類がいるか考え、保育者が捕まえた蝉を皆で観察する。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・戸外に出る前から蝉の鳴き声が聞こえると「蝉の声がする」と気付いたり、水道近くに蝉の抜け殻を見つけ「蝉の抜け殻がある」と蝉に興味を持つ。保育者が用意した絵本を見て蝉が幼虫になるまでを知り、さらに興味を持ち、園庭に探しに行くことにする。蝉の鳴き声を聞いて「ミンミンゼミじゃない？」鳴き声をたよりに「あそこに蝉がいた」などと言いながら皆で蝉のいそうな木の近くに行き、木の上を見上げる。保育者が捕まえると拍手をして「やったー」と喜び恐る恐る蝉をのぞき込んだり触ろうとするが「こわい」「バタバタしてる」と言いなかなか触れなかった。生きている蝉は怖いけど抜け殻なら怖くないと「見て、あったよ」と嬉しそうに見せに来た。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

生きている蝉を見せることが出来て子ども達が興味を持った蝉について身近に感じることが出来た。絵本を見て蝉の種類や成虫になる様子も知ることが出来て、感心したり虫好きの子が保育者の代わりに話をしてくれたりとクラスで盛り上がることが出来て良かった。